

平成23年1月20日（木）

（午前9時30分 開議）

○議長（中西峰雄君）おはようございます。ただ今の出席議員は23人で定足数に達しております。

○議長（中西峰雄君）これより平成23年1月橋本市議会臨時会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

この際、市長から発言の申し出がありますので、これを許します。

市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）皆さん、おはようございます。市議会臨時議会開催にあたりまして一言ごあいさつを申し上げます。議員の皆さまには年明け早々何かとご多用の中ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。昨年暮れから大変厳しい寒さが続く毎日でございます。今年も一年本市のまちづくりに向け、精いっぱい頑張ることを年頭にあたり誓いを新たにいたしましたところでございます。議員各位の高所からのご意見、ご指導を賜り、誤りなき行政運営を行ってまいる所存でございますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

○議長（中西峰雄君）それでは、今、臨時会に出席の説明委員につきましては、お手元に出席説明委員表を配付いたしております。

この際、諸般の報告をいたします。

市長から、平成23年1月13日付、橋総第151号をもって、本日招集の市議会臨時会に提出する議案2件が送付されております。議案はお手元に配付いたしております。これを今会期中にご審議願います。

次に、平成23年1月17日付、橋総第157号をもって市長専決処分事項の報告があったので、その写しを配付いたしております。

以上で報告を終わります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（中西峰雄君）これより日程に入り、日程第1 会議録署名議員の指名 を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第81条の規定により、議長において11番 岩田君、15番 石橋君の2人を指名いたします。

日程第2 会期決定について

○議長（中西峰雄君）日程第2 会期決定について を議題といたします。

お諮りいたします。

今臨時会の会期は本日1日といたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西峰雄君）ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日と決定いたしました。

日程第3 議案第1号 平成22年度橋本市一般会計補正予算(第6号)について と、

日程第4 議案第2号 和解に係る損害賠償の額を定めることについて の2件

○議長（中西峰雄君）日程第3 議案第1号 平成22年度橋本市一般会計補正予算(第6号)について と、日程第4 議案第2号 和解に係る損害賠償の額を定めることについての2件を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君） それでは、本日の市議会臨時会に上程する議案につきましてご説明を申し上げます。

今議会の議案といたしましては、平成22年度橋本市一般会計補正予算案件と、和解に係る損害賠償の額を定めることについての2件でございます。

まず、議案第1号の平成22年度橋本市一般会計補正予算（第6号）につきましては、国において円高、デフレ対応のための緊急総合経済対策が平成22年10月8日に閣議決定され、11月26日に成立した国の第二次補正予算に基づくものでございます。今回の第二次補正予算の一部には、地域活性化のために創設されたきめ細かな交付金と住民生活に光を注ぐ交付金が含まれ、それぞれ都道府県及び市町村に交付されるとともに国の予算においては、社会資本整備総合交付金等も増額されてございます。橋本市にはきめ細かな交付金として8,366万1,000円が、住民生活に光を注ぐ交付金として2,039万4,000円が今回交付されるとともに、社会資本整備総合交付金として3,500万円が増額されたことになり、各交付金とも経済対策及び地域活性化対策という趣旨に沿って成立した予算であることから、本市におきましてもできる限り早く予算化を図る必要があると判断し、臨時会を開催していただいた次第でございます。

それでは、歳出予算をご説明させていただきます。まず、土木費でございますが、社会資本整備総合交付金事業として城山台1号線の舗装繕工事費6,000万2,000円と、木造住宅耐震改修事業補助金440万円をそれぞれ計上いたしました。また、きめ細かな交付金事業として、市道の修繕費2,000万円、市道の改

良舗装工事費4,000万円、都市計画街路伏原田原線橋梁設計費853万円、市営住宅修繕費673万1,000円、市営住宅棟集約改修工事費1,300万円を計上してございます。消防費では、同じくきめ細かな交付金事業として、消防団の納庫の下水道接続工事費180万円、防火水槽新設工事費700万円を計上いたしました。教育費ではきめ細かな交付金事業として、小学校施設整備費270万円、中学校施設整備費1,490万円をそれぞれ計上するとともに、住民生活に光を注ぐ交付金事業として図書館の図書購入費や館用器具購入費を含めて2,039万4,000円の予算を計上いたしました。以上が社会資本整備総合交付金、きめ細かな交付金、住民生活に光を注ぐ交付金の予算関連経費でございます。

なお、それ以外に議案第2号の和解に係る損害賠償の額を定めることについての関係予算として、総務費において賠償金82万6,000円を計上したほか、教育費では地域子育て創生事業県補助金の増額に伴い、「今日から変わる私も子ども」と題して、市民を対象にした講演会を開催する経費を計上いたしてございます。

以上が今議会に提出した一般会計歳出予算であり、歳入予算についても社会資本整備総合交付金やきめ細かな交付金、住民生活に光を注ぐ交付金など歳出予算に係る歳入予算を増額補正してございますので、よろしくお願いを申し上げます。

続きまして、議案第2号でございますが、和解に係る損害賠償の額を定めることについてであります。これは、公用車の事故に伴うもので、先日相手方と条件面での合意に至りましたので、示談を締結するにあたり議会の議決を求めるものであります。

以上、議案2件についてご説明を申し上げます。議員各位には、よろしくご審議の上、

ご賛同賜りますよう、お願いを申し上げ、提案の説明とさせていただきます。

○議長（中西峰雄君）市長の説明が終わりました。

これより、議案第1号について質疑を行います。

便宜、補正予算説明書により歳出から款別に行います。

補正予算説明書の平成22年度一般会計補正予算（第6号）の8ページをお開き下さい。

まず、2款総務費、8款土木費、8ページから11ページまで質疑ありませんか。

23番 井上君。

○23番（井上勝彦君）補正が出とるわけですが、9ページの工事請負費、道路舗装工事費6,000万2,000円と、それから説明の15の4,000万円等々の工事の場所と、それから何箇所ぐらいでどの辺をやられるのか、ちょっとご説明願いたいです。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）まず、城山台1号線舗装繕工事6,000万2,000円につきましては、城山台1号線と申しまして北部ニュータウン群の中の城山台の中の外周道路と申しますか、約1,900mについての舗装工事でございます。これは、団地が開発されて現在までのところ抜本的に舗装の改修等がなされておられませんので、いわゆる表層のアスファルトをめくって打ち替えるという工事を考えております。それから、きめ細かな交付金事業に関する工事請負費の4,000万円でございます、このうち、お手元にお配りしました資料で改良工事といたしまして3,000万円、市単舗装工事といたしまして1,000万円、これは、本来でしたら平成23年度の市単の工事の中で執行すべきところ、今回景気対策ということで前倒しで執行することになる予定でございます。そういったところで、箇所付け等につい

ては、基本的にこれからということになるんですけども、継続的に改修工事等をしておりますところを中心に緊急性の要するもの等をこれから吟味して発注を早速準備していきたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（中西峰雄君）23番 井上君。

○23番（井上勝彦君）今4,000万円、3,000万円と1,000万円、舗装工事と分けておるわけなんですけども、ある程度どの箇所かというのか、継続してやってる場所もあるけれども何百箇所かあると思うんですけど、ある程度のめどというのか、だいたい早くやっていかならん場所もあるんだろうけれども、それぞれたくさん建設は要望が出てますわ。この中でどの部分をだいたいどういうふうな形で進めていくのかというの、何か予算3,000万円、1,000万円組んでるけど、今の説明だったら何に使うのかなど。ただその補修にいくんやけども、だいたいどういうところかというのは全然わからないんですか。わからんと予算組んどるのか。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）ご質問にはない、上のきめ細かな交付金事業需用費の2,000万円につきましては、いわゆる、ただ今議員おただしのように道路の修繕的なものに充てるものでございます。これについては従来からたくさん要望いただいているものの中から吟味して緊急性の要するものから着手したいなど考えております。それから、先にご質問いただきました改良工事、舗装工事については継続的にやっております道路の改良工事あるいは舗装の打ち替え工事等について充て込んでいくというところで、まだ決定ではございませんが、現在継続的に、例えば改良工事しております路線としましては、ちょっと細かな説明はいたしかねるんですけども、例えば竹

尾2号線、南馬場西畑線、御幸ヶ丘1号線等継続的に実施しておりますので、こういったものの中から数箇所実施していきたいと考えております。それから舗装工事につきましても、湯屋谷線あるいは嵯峨谷九重1号線、三石台歩専3の2号線等が現在継続的に実施されておりますので、こういったところを中心に箇所決定をしながら実施していきたいというふうに考えてございます。

○議長（中西峰雄君）21番 上久保君。

○21番（上久保 修君）11ページの住宅整備事業費のところ少しお聞きしたいと思います。

ここに上げておられます木造住宅の耐震化促進事業に要する経費の中の部分の安心安全な住環境の整備として市営住宅の修繕費の予算を計上されております。600万円ですか、673万1,000円。それともう一つは、きめ細やかな交付金事業に要する経費の中で、同じく安心安全な住環境ということで市営住宅の改修の工事の部分で1,300万円上げておられますけれども、この説明書を見てもどの程度、まず市営住宅の修繕費というのはどの程度をされる予定をされているのか、また市営住宅全体から見てこの予算でどの程度まで修繕の計画がなされるのかという点、さらには改修工事については、これは場所もわかりませんし、その辺の説明をまずしていただきたいと思ます。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）まず、きめ細かな交付金事業の需用費の600万円でございます。これにつきましては市営住宅の中で、あきまして新たに募集をかける建物の新規に入っていくための内部の修繕工事でございます。予定としましては1戸当たり100万円程度過去の実績から必要となりますので、6戸程度の中の壁紙の張り替えですとか、畳のやり替えですとかそういったものの修繕を考えてお

ります。これは、あいた住宅の新規募集に関する修繕を予定しております。それからもう一件の1,300万円につきましては、これはストック活用計画の中で棟の集約をしていく予定でございます真土住宅、このうちの2戸について1戸当たり650万円程度、これは前段説明しました修繕ということではなくて、抜本的にお風呂をつけたり、台所をやり替えたり、場合によってはバリアフリー化、トイレもやり替えたり、間取りもやり替えたりということで、大きく中の改装をいたしまして集約していくという目的で改修する予定の2箇所でございます。

以上です。

○議長（中西峰雄君）21番 上久保君。

○21番（上久保 修君）わかりました。そして、まず一つ目の市営住宅の修繕費に上げられておる予算、これ1戸当たり100万円ということでご説明ありまして、6戸程度、これによって橋本市全体の、今6月と12月に新たなあきが出て募集かけるわけですよ、6戸ということは次の6月に申し込みを考えてのお話なんですかね。それがまず一つと、今、市民の方が大変住宅の申し込みが多くあるということも聞いておりまして、市としては改修云々も話ありますけれども、特に市民の方からよく指摘受けるんですけども、6月と12月の申し込みの段階でやっぱり少ないということですよ、戸数が。こういうきめ細やかな交付金事業を活用して、もっと市民の人に、1回当たり30件近く申し込みあるっていうように聞いてますけど、そこら辺の対応として予算をつけるべきかなと思ましたので、質問させてもらったんですけど、その辺の考え方まずお聞きしたいのと、それから今、1,300万円の中で真土住宅の1戸当たり650万円ほどかかるということなんですけど、ほかの今お住まいされているというか、改修についてはど

ども、現在の生活形態に即したような形に、まずあいたところを改修いたしまして、ああ、そこやったら移りたいなあ、移ってもいいよって思ってもらえるようにすることがまず一つではないかなと。もう一つにつきましては、これはまったく未確定でございますけども、家賃の問題でございます。移ることによって家賃がどうなるかと、ここらあたりも整理した中で、今後棟の集約を促進する上でどういった施策が必要かということはずは考えていきたいとは思いますが、とりあえず、あそこやったら移ってもいいなって思えるような状況にまずすることかなというところで、こういった予算計上をさせていただいているような状況でございます。

以上です。

○議長（中西峰雄君）3番 富岡君。

○3番（富岡清彦君）ということは、転居を促すというのは来年度ということでしょうか。既に2戸が完成をし、現在1戸工事中、さらにあと2戸改修するという事なんですが、そこで特に地元の入居者の方の声として、強制的な撤去については、これは行わないということでお約束いただけるのでしょうか。それと、あとその、いつ頃から転居、かわるということを進めようとしているのか。それから地元の入居者の方の一番の希望は、限界集落になってるんです、この住宅も。65歳以上の方が半数を超えて、溝掃除をはじめ、いろんな取り組みがなかなか困難になってる状況ある中で、あれだけきれいに住宅をしたのであれば、若い方で希望者があれば入居してほしいんだという声も、これが非常に強いですよね。ここらの点についてお答え下さい。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）真土住宅の南の3列の戸数からいたしまして、強制的に云々という話は、これ物理的にも無理かなというふ

うにまず考えております。それから、議員おただしのように現在改修中のものもございすし、今回の2戸もございすので、これが一つのモデル住宅みたいなことになろうかと思っておりますので、それをご覧いただいて、そういった中から転居という話を逐次進めていきたいなど。予算いただいて執行しております以上、改修するだけしてほうっておくという話もいかなものかなと思っておりますので、それは、なるべく早くそういった方向に市としたら持っていきたいなというふうに考えております。それから改修の形態でございますけれども、おただしのようにいわゆる若い世代の方も入っていただくということも視野に入るとなれば、やっぱり改修のほうも若干変わってきますので、それは今後の課題としてという方でいろいろまた検討していきたいというふうに考えます。

○議長（中西峰雄君）ほかにありませんか。

12番 辻本君。

○12番（辻本 勉君）9ページの2518の13委託料なんですが、伏原田原線橋梁設計委託料853万円ということなんですが、これ場所をきちっとお教え願いたいのと、これ元々都市計画の中で計画されておったと思うので、前倒しなのかどうかということと、今後この橋梁設計、この事業でやりますと、次年度で工事に入ってこようかと思うんですが、その工事について、やっぱり今の段階でどれぐらいの予算が必要であるのかということと、その予測される財源内訳もわかればお教え願いたいと思います。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）まず、橋梁につきましては雨天樋川にかかっております橋梁でございます。現在国道24号線から旧大和街道まで伏原田原線には完成しておりますけども、ちょうどその北の端っこに雨天樋橋がござい

まして、そこを越える橋梁でございます。これに関する委託費でございます。

この橋梁につきましては、平成12年度に実は設計が一旦完了しております。その後平成14年に耐震基準が変わりまして、橋梁に関する耐震基準そのもの見直しが必要でございます。ところが、着手年度等がまだ定まっておりましたので、12年度の設計で現在に至っておるところでございます。ちょうどこの橋を越えました部分で現在工事しておりますので、ぼちぼちこのあたりについても設計してもまた基準が変わる云々ということもないという判断から、今回この予算をいただいて、橋梁設計を見直しするという予定でございます。そういったところから、まだ着手年度についてはいつとか、あるいは事業費がどのぐらいになるかというのは、この橋梁設計を見直す中で決定していくことになるかと思っておりますので、現在の状況というのはそういうところでございます。

○議長（中西峰雄君）12番 辻本君。

○12番（辻本 勉君）今、答弁いただいたんですけども、着手予定が未定というのはちょっと私としても納得がいかなというのかな。一定予算の部分は出てこようかと思うんですが、今回この見直しをして、設計をするのであれば、いつ頃着手しようとしてるのかなというのが、着手予定がわからんというのにこの設計をするというのもちょっとおかしい話なんで、来年度になるんか、再来年度になるんか、ほかとの工事の絡みもあると思うんですけども、当然あの周辺の完成予定というのはあって然るべきだと思うんで、その橋の工事、着手予定がないっていうのはおかしい話なんです。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）大変失礼いたしました。本区間につきましては、事業認可いた

だいております、事業期間が平成26年度ということになっておりますので、もちろんそれまでに、あれです。着手予定が未定というのが来年度になるのか、再来年度になるのかという程度の中での未定ということでございますので、現在工事しております区間の完了を見込みから言いますと、25年度あたりを一つの目標としてやっていきたいなというふうに考えておりますが、ただ生活道路等も関連しますので、現在工事中の区間の状況なんかを見定めながら、この橋梁区間についての発注時期は考えていきたいなと思っておりますが、あくまで事業期間は26年度までということになっておりますので、もちろん逆算して着手していきたいというふうに考えております。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）今の点なんですけれども、今回の交付金というのは、景気対策等を考えて今本当に必要なもの、そこへお金かけていく、予算をつけていく、そういった趣旨だと思うんですよ。今のお話ですと、25年とか先の分を今やることよりも、今市民生活でもっと必要なところにこの分の予算をつけていく方がいいんじゃないかなと思うんですけども、別にここがいい悪いということじゃなくて、もっと道路補修ですとか、さまざまな市民要望も出てると思うんですけども、あえてそちらに予算をつけるのではなく、こちらの橋梁の設計委託のほうへ予算付けをされて、ご提案をいただいているのか、その点についての理由等ご説明いただけますか。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）先ほどご質問いただきました工事の修繕等とは大分趣きの違う委託料ということでございます。今回のきめ細かな交付金につきましては、議員おたなしのようにいわゆる市民生活に密着した道路の

安全確保でありますとか、そういった項目もございませぬ。そんな中で、一つは早期に着手を必要とするものという視点から、こういったものに手当てしていきたいなど。結果といたしまして、ここで交付金事業を執行させていただいて、これを前倒しで執行することによりまして、市の財政状況等を勘案しましたところ、後々の道路修繕等についても、結果としてまた後付けで、後付けというんですか、新年度予算の中でそういったこと、ここで交付金事業いただくことによって予算的な余裕が生み出されれば、結果として、そちらのほうへも予算的にはお返しいただけるのかなということもございまして、やはり喫緊の課題のもので非常に有利な交付金をいただくものから一つは着手したいというようなところで提案させていただいております。

○議長（中西峰雄君）13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）今の答弁、まあわからんでもないんですけども、今まず必要な分の、市民からのご要望がたまってないという状況であればそれは理解できます。あそこも直してほしい、ここも直してほしい、山積みになってると思うんです。けども、それはおいといて、先にこっちを前倒しすることが後々長期的に見れば早くなるんですか。そういうご答弁なんですか。それと、一つその前に勘違いしてるといけませんので、このきめ細やかなというところですね、ひもついてますか。この分野にいくら、こういった分野にいくらというような形での交付をされておるのか。それであれば、橋梁に金使えというんであれば仕方ないと思うんですけども。多分そうじゃないと思うので、その予算のつけ方、本当にこれでいいのかどうか、再度お尋ねをいたします。

○議長（中西峰雄君）財政課長。

○財政課長（北山茂樹君）まず、きめ細かな

交付金事業については、その使途というのは特定されておりませぬ。市町村の自由な裁量行為の中で取り組んでいける交付金でございませぬ。目的でございませぬけども、当然市民に直結したという話にはなるんですけども、一番大きな目的につきましては、経済対策及び地域活性化ということになりますので、できる限り地元業者が受注できる事業に、今回交付金を充てさせていただいて、できる限り地元の活性化につながるということを最大の目的として予算組みをさせていただいておりますのでよろしくご理解のほどお願いをいたします。

○議長（中西峰雄君）ほかにありませんか。

10番 松本君。

○10番（松本健一君）井上議員が質問された城山台1号線舗装修繕に要する経費に関して重ねてご質問させていただきます。この外周道路1,900m、1.9kmを全面舗装をし直すということですけども、これは地元からの要望等があった分でしょうか。それと、地元への説明等はされているのか、ほかに地元から上がっているようなことがないのか、ご説明いただければと思います。

それとあと、きめ細やかな交付金事業に要する経費の修繕費2,000万円と改良工事費及び舗装工事費4,000万円についてですけども、9月に1,500万円ほどの災害復旧に関する補正が組まれたかと思っております。そのときに行われている事業で、資材支給等で職員の方々が対応された工事とか、最近少し見えてくるんですけども、こういった点で業者にこれではやはり無理だということで、そういった部分にも配慮させていただいて、しっかりと災害復旧を行っていただくことも考慮していただける経費として計上していただけるのか、ちょっとこの辺ご答弁いただければと思います。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）城山台1号線につきましては、現在、三石台垂井線と申しまして下の4車線道路あたりも逐次、断続的に舗装の打ち替え工事をしております。基本的に舗装が長年にわたり傷んできまして、そのことによって車の通行による騒音あるいはほこり等が大変だということ、古い団地からも逐次そういった舗装の打ち替えを、地元要望も当然ある中で打ち替えておるその一環としまして、この1号線につきましても古くなって傷んだ舗装を打ち替えることによって、騒音の問題ですとか、ほこりの問題等も解消していきたいなというところで、広い意味での地元要望も受けた中での工事だということでございます。

それから、2,000万円の修繕でございます。事例申し上げますと、平成21年度の決算で報告させていただいております修繕工事の件数は147件でございます。平成22年度、まだ終わっておりませんが、現在の予測では220件程度修繕を行えるのではなかろうかということで、9月補正等でお認めいただき、あるいは昨年のきめ細かな交付金事業等でもいただいておりますところから、今まで手が回らなかったところについても件数的にはやや回っているのかなというふうに考えております。そんな中で、直営では不足な部分云々というのは、予算いただくいただかないにかかわらず、まずは経費の節減という意味で直営でいけるものはいきたいなというふうに今後も考えております。ただ、まずは安全ということが第一ですので、専門業者に発注が必要な分につきましてはそれはそれできちっと対応していきたいなというふうに考えております。

以上です。

○議長（中西峰雄君）10番 松本君。答弁もれ指摘願います。

○10番（松本健一君）城山台1号線に関する部分で地元からほかに要望等が上がってるかどうか、その点、答弁もれ、お願いいたします。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）失礼いたしました。城山台1号線につきましては、1,900mというところで全線一応これで完成したいなというふうに考えております。ご質問の趣旨は城山台全体という……。

いわゆる、その要望につきましては、例えばカーブミラーですとか部分的な補修でありますとか、歩道における補修等につきましては要望はまだございます、これ以外にも。これはあくまでも1号線についての予算でございまして、その他の要望についてはまた別の修繕費であるとか、改良あるいは舗装工事の中で今後検討していくということになるかと思っております。

以上でございます。

○議長（中西峰雄君）10番 松本君。

○10番（松本健一君）ありがとうございます。城山台のほうですけれども、いろいろと要望等も聞いてきてますが、今回この1,900m外周道路補修していただける、修繕していただけるということで地元もご理解いただけるのかなと思います。この点、ほかの要望等も含めて前向きに取り組んでいただければと思います。

それと、先ほどの4,000万円、2,000万円のほうですけれども、この点も今まで行ってきた道路等も、もう一度安全に工事が行われてきているか、次に災害等でまたそこが崩れることのないようにもう一度再確認をさせていただいて、予算配分を組んでいただけるように要望させていただきます。

以上です。

○議長（中西峰雄君）ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西峰雄君）ないようですので、次に9款消防費、10款教育費、10ページから13ページまで質疑ありませんか。

9番 上田君。

○9番（上田良治君）消防費についておただししたいと思います。

まず、消防納庫の下水道の接続の工事費ということで180万円計上されておるんですが、これ下水道管通って接続していかなあかんということで上げられたと思うんですが、市内その場所たくさんあると思うんですが、全部やられるのかどうかというのと、それでまだ隅田については、旧市区域の消防納庫については、トイレをまだ仮設トイレで対応しているところもあるんですよ。それで、優先順位で言うたら、そっちのほうの方が先やっていただきたいなというのがございます。15人以上の団員がそこで仮設トイレで男女というか、大小一つの仮設トイレでやっておるということで、その辺も十分考慮していただきたいなというのと、それとあと、消防防火水槽、これはこのきめ細やかな交付金で設置工事費をやっていただくということなんですが、これは2年に1回の割合で防火水槽については設置していただいと思うんですが、これは前倒しになるのか、1箇所やっていただいと思うんですが、今年度についてはこれを活用して2箇所要望しているところ、優先順位からやっていただいのかどうかというのと、その二点お伺いしたいと思います。

○議長（中西峰雄君）消防長。

○消防長（神谷重廣君）ただ今の件についてお答えします。

下水道の接続につきましては、現在橋本市内で8箇所が接続できていないところがございます。それを年次計画をもって2箇所、今回については御幸辻、岸上地区の器具庫のと

ころに接続したいなど、2箇所を考えております。それとトイレですけれども、議員ご指摘のとおり、旧橋本の消防団につきましては、簡易トイレが大半でございます。それで、これにあわせて随時、接続していったものから簡易式の水洗トイレのほうを用意していきたいと考えております。それと防火水槽につきましては、毎年1基ずつ新設しております。今回につきましては、地元要望の強い西畑地区、これについてはうちのほうも検討してたんですけども、やはり地域配分、消防の充足率から見てもため池しかございませんので、今回については西畑地区を予定しております。

以上でございます。

○議長（中西峰雄君）9番 上田君。

○9番（上田良治君）そしたら、西畑地区ということなんですが、毎年1箇所ということで、今年については1箇所で行くということですか。あと1箇所はもう、2箇所にふやすということはないのかなと思ひまして、聞かせていただいた次第です。それと隅田の5分団、512の納庫については仮設トイレということで、それを簡易水洗とかそういった形でまた設置していただいという答弁だったと思うんですが、早くそちらのほうもひとつ、工事のほうしていただきたいなということでよろしく願ひします。2箇所は無理なんですね、今年については、防火水槽は。

○議長（中西峰雄君）消防長。

○消防長（神谷重廣君）今年につきましては、この西畑地区のみ考えておる次第でございます。

○議長（中西峰雄君）21番 上久保君。

○21番（上久保 修君）二つまずお聞きします。

一つは、13ページの住民生活に光を注ぐ交付金事業に要する経費で、今教育文化耐震改修ということで図書館も改修されているわけ

ですが、毎年図書費というのは、ちょうど私、議員にならせていただいた当時からすれば、年々図書費は下がってるんですけども、今回の予算の配分、先ほど財政課長の財政当局のほうからもちょっと説明ありましたが、経済対策に、また雇用に関連したような予算計上をされているようにお聞きしていますが、この図書費の部分で、確かに地域づくりを図るための図書購入費、また新しく改修された図書館に蔵書をされるように思うんですが、今現在、全体で橋本市が保有している図書の数12万冊云々あると思うんですが、そこら辺は今展示されてない部分があると思うんです。そこら辺も含めて新たに展示する箇所が多くなれば、その分も大いに展示していけるわけですけども、この住民生活に光を注ぐ交付金という意味合いからしたら、どのような図書を購入される予定してるんか、これが財政当局が言われているその予算の配分について、どういうふうに説明していただけるんかということで、今回の補正の全体からすると約1割になりますので、そこら辺の部分の説明をまずしていただきたいのと、それから上田議員が指摘されました部分の消防費の中で防火水槽、毎年予算の予算書、また決算なんか見ていると、毎年1基ずつ実施しているわけですけども、橋本市全体として整備計画、先ほどの答弁ではちょっと答弁されていなかったように思うんですが、この1基、今回西畑地区でされるわけですか、このことによってどのような整備計画が進んでいるんかという、あと、どこどこから要望があったり、また橋本市内に防火水槽を設置しなければいけないという部分についてはどのようにお考えなのか、まずお聞きしておきます。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）図書費のおただしなんですけど、図書費の推移につきましては、

平成16年度あたりから1,000万円、それから17年度も同じく1,000万円、18年度が1,030万円、平成19年度が1,000万円、それといろいろございまして、平成20年度702万2,000円ということになっております。それと平成21年度が同じく702万2,000円、それと平成22年度は仮図書館という意味もありまして500万円の予算になっております。それで、今回住民生活に光を注ぐ交付金事業ということで1,000万円、もとどおりの16年度あたりの1,000万円に復活をさせていただいて、今後改修の図書館の中でいろんな広がりを持った図書になってくるとお思いますので、その辺の充実を前もって準備していきたいという意味で、平成22年度の12月補正でもそういったところで準備の予算を計上されておりましたけれども、その辺で、平成22年の12月の減額補正、これを今回この交付金事業で充てまして、充たさせてもらおうというところで考えてございます。そしてどのような図書という中身でございますが、今後図書館の職員を中心に充実の中身の、本は市民の要望も勘案しまして充実させていきたいと考えております。

以上です。

○議長（中西峰雄君）消防長。

○消防長（神谷重廣君）それでは、防火水槽の件についてお答えいたします。

防火水槽につきましては、橋本市では現在389基ございます。ただし、この防火水槽389基のうち、ふた付きと言うんですか、有がい・無がいというのがございまして、ふたなしにつきましては、非常にごみとか泥がたまりやすいというような形状でございますので、これにつきましては随時整備もしていくと、ふた付きのほうにしていくと、危険性もございまして、そういうことで毎年継続的に新設あるいは改修していらっしゃる次第でございます。そして、要望につきましても、地元、区

長さんはじめ地元民からの要望もかなり入ってきております。ただ、それについてうちのほうで実際に消防戦術上必要か否か、それについても検討させていただいて、必要なものから優先順位をつけて要望しておる次第でございます。それと、防火水槽につきましても耐震性の防火水槽というのが、現在、率でしたら20%余しです。22.3%ということで、この耐震性の防火水槽を地域の拠点拠点に設置していくのが消防としてはベターだということで、現在そこらも含めて要望しておる次第でございます。

〔議長、答弁もれ〕と呼ぶ者あり〕

○議長（中西峰雄君）21番 上久保君、答弁もれを指摘してください。

○21番（上久保 修君）まず、図書費の答弁もれを指摘させていただきます。先ほどの僕の質問では、現在の図書の図書数からしてどのような計画をというか、配分を考える、新しく改修されるんで、この1,000万円については先ほど説明ありましたが、現在の、今どこかに置いている図書を活用するという方法をどうなんですかと僕、聞いてるはずなんです。その辺まず聞かせてほしいのと、財政当局が言われているその経済対策云々の今回の補正の趣旨にどのように関連しているんかということをお尋ねしたと思うんですが、そこら辺のことと。

それと消防に関しては、今答弁いただきましたが、389基ということで、橋本市全体としては、消防本部としてはどの程度で整備完了になるんかということがお答えいただけなかったのかなと。ただ、耐震性の部分については22.3%と言われたんですが、要望もどンドン出てるわけですけども、橋本市全体としてはだいたい何基ぐらいで、今の進捗としては整備状況はどの程度までいってるんかということをお尋ねしたと思うんで

すが。もしわかって計画があるのであればお聞きしたいということでお尋ねしております。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）図書の関係でございますが、現在、橋本小学校へ仮図書館の関係で旧の図書館で使っておった図書については保管してございます。それについてはまた再度、従来使っておったところへ戻す予定でございます。それと含めまして、この新しい1,000万円の、知の活用ということで、知識の知、知の活用ということでこの住民生活に光を注ぐ交付金事業ということで、これが該当しますので、市の単独費用をもってするんじゃないしに、この活用事業を使ってできるだけそういったところで、先ほど建設部でも説明があったように、今後、いよいよ新しい図書館ができましたら、もっと活用していかんな、5階全体を展望できるような図書館になるということになりますんで、まずこの経済対策で図書の充実を、できるだけ早く新しく図書を購入して活用していくと、そういう経済対策に乗っかるという意味で今回予算を計上させていただいております。そういったところで考えておりますのでよろしくご理解いただきたいと思っております。

○議長（中西峰雄君）財政課長。

○財政課長（北山茂樹君）きめ細かな交付金それから住民生活に光を注ぐ交付金とも、もちろん地域活性化のための交付金でございます。当然、図書費につきましても地元業者から図書を購入するということになりますので、地域経済の活性化に資するものと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

○議長（中西峰雄君）消防長。

○消防長（神谷重廣君）それでは、改めて防火水槽についてお答えさせていただきます。充足率から言えば、山間部を除けば概ねできておるところなんですけれども、ただ、これ

はあくまでも地図上の上で円を描いて防火水槽、消火栓、河川をすべて含めた中で充足率を出しております。ただ、大災害、大きな火災になりますと消火栓一つではあちこちの消防車が水利部署しますと、共倒れということで、水圧が少なくなって消化できない、また震災を考えれば消火栓、古い防火水槽については水もれのおそれが十分ございますので、個々に考えるその充足率というのはいけませんけれども、それで、うちとしては、やはり個々に防火水槽、消火栓をバランスよく配備して、今後も新設していきたいなと思っておる次第でございます。ですので、全体的に見れば市街地とかその周辺につきましては充足率はかなりでき上がっておりますけれども、山間部については弱いということと、震災あるいは大規模火災を考えれば、まだまだ設置が必要と考えております。

以上です。

○議長（中西峰雄君）21番 上久保君。

○21番（上久保 修君）ありがとうございます。そしたらまず、何回も聞いて悪いんですが、図書費の部分について先ほど、同僚議員も言われていますけど、今回の補正の予算、あくまでもこの緊急経済対策、またきめ細やか、住民生活に直結したというそういう予算ですので、新たに23年度予算の前倒しじゃないということだけは確認しておきたいんですが。図書費の部分についても、先ほどご指摘させていただきましたように、私は11年に議員として上がってずっとなってきましたけれども、その1,000万円、1,200万円程度の部分についても実際、この橋本市の住民、当時5万5,000人、今7万人からしたら、確かにそういう蔵書の予算についてはそれで適当かなというのにはちょっと不思議に思ってたんです。本来やったらもっと蔵書して市民の皆さんにご理解いただいて、やっていただくとい

う部分についてはもう少し予算付けをしてもいいのかなというふうに思ってたんです。先ほどの説明のとおり700万円ぐらいまでに落ちてるんです。これはもう橋本市の財政を考えるといたしかたないのかなというところもあります。今回のその予算1,000万円を使って、次年度に図書費に関しても削ることないようにやっていただきたいと思うんですが、そこら辺についてはどのようにこう、来年度の予算にどのような関連があるのか、今回は単にこの2億円云々の話だけで、新たに23年度の予算についてはきっちりとした、そういうその考え方であればいいのかなというのは、ちょっとお尋ねしたいところなんです。

また、消防費の防火水槽については、やっぱり充足率がほぼということなんですが、耐震性の部分があって、いろいろとこれからも地元の要望とか云々があるんですが、来年度の新設する分については、予算に関しては1基ということで計画されているようなので、そこら辺の話もきちっと説明していただきたいというふうに思います。

○議長（中西峰雄君）財政課長。

○財政課長（北山茂樹君）来年度予算につきましては、現在まだ精査中、作業中の途中でございますので確定したものではありませんので、今の、今議場の中でご答弁は差し控えたいと思います。よろしくお願ひします。

○議長（中西峰雄君）暫時休憩いたします。

（午前10時36分 休憩）

（午前10時50分 再開）

○議長（中西峰雄君）休憩前に引き続き会議を開きます。

21番 上久保君の答弁もれの指摘に対する答弁を求めます。総務部長。

○総務部長（中山哲次君）ご答弁をさせてい

たきます。

先ほど財政課長なり教育次長のほうからもご答弁させていただいたとおりでございますが、市といたしましては、この経済対策は、今この補正の時期に、この臨時議会を通していただいて、この経済対策を施行、各種事業を施行していくことに意義があるというふうに考えておりますので、今回補正対応をさせていただいております。ですから、その中で前倒しであるのかというご質問もございましたが、前倒しも含んでございます。今後、この補正の後に23年度予算も含めまして、どう今後展開していくのかというご質問かと思えますけれども、国のほうでも今現在は、平成23年度の国の予算もまだ未定の状況でございます。そうしたことの中では、今後の財政運営、23年度の当初予算につきましても財政状況、国の地方財政計画も踏まえまして、総合的に財政運営をやっていく必要があるというふうに考えておりますので、今後、市の税収も含めまして、総合的な財政運営ということで考えておりますのでご答弁させていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

○議長（中西峰雄君）ほかにありませんか。

14番 土井君。

○14番（土井裕美子君）13ページの2908きめ細かな交付金事業に要する経費、小学校の施設整備工事費270万円が上がっております。それと、同じくその同じページの3008の15の中学校施設整備工事費が上がっておりますが、これ場所がどこの小学校、中学校であるのかということをおちょっとご説明していただきたいと思えます。小・中学校ずっと回りましても、大変施設等が老朽化しておりまして、教育委員会のほうでは緊急性を要するところから措置をしていただいているかと思えますけれども、この説明書の中でも場所等がわかりませんので、その辺のところ詳しくご説明をい

たきたいと思えます。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）実は、昨年平成22年8月23、24、30、31日の4日間をかけた教育長と教育次長、それから教育総務課の職員で小学校、中学校を含めたそういった施設の関係を調査いたしました。その中で特に、市単独事業で工事対応していかんなんところがたくさんあると感じております。今回、この経済対策の中できめ細やかな交付金事業に関して計上させていただいておりますのは、小学校では三石小学校の北棟、南棟の屋上の防水工事、それぞれ一部なんですけど、約90㎡の防水をさせていただこうかなと思っております。それと、中学校につきましては2箇所ございまして、隅田中学校の玄関の屋根、これも防水工事150㎡ですが、これを行う予算、これが約300万円です。それと高野口中学校の玄関の、生徒玄関の改修、主に西側の窓なんですけど、これがかなり傷んでおりまして、これを改修したいということと、それから特別教室棟、中南棟の屋根約400㎡の防水、これも緊急に優先順位としてはやっぴいかなんことだということで、今回このタイムリーに、市の単独事業をいろいろしなければならぬところがありましたところを調査したところ、今回実行していけるということになっておりますので、よろしくお願いたします。

○議長（中西峰雄君）ほかにありませんか。

10番 松本君。

○10番（松本健一君）図書費にもう一度戻らせていただきます。この図書に関して、説明のほうでは橋本市図書館の図書というふうにご説明いただいておりますけれども、これは高野口分館等も含まれるのかどうか、この点をお答えいただければと思えます。

それと、今の小学校、中学校の施設整備関連ですけれども、次長の答弁で小・中学校を

見回っていただいたという話で、地震対策、建物というところは予算がつけやすいというふうに聞いてるんですが、棚であったりとか、倒れてくるものとかそういった部分の安全対策とかもこういった部分で見えていただいているのかどうか、この点お答えいただければと思います。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）分館の件につきましては含んでございません。

それと、地震対策の関係で棚等、そういったところについては、そういった修繕関係については通常の修繕で対応してまいりたいと考えておりますので、この経済対策には含まれておりません。

○議長（中西峰雄君）10番 松本君。

○10番（松本健一君）含まれてないということですが、高野口の分館とかも見てみると決して恵まれた状況とは言えないと思います。こういったところでこそ、住民生活、高野口の周辺の方々の生活に光を注ぐ政策だと思いますので、こういった点も含めて考えていただければと思います。

それと、小・中学校の耐震という部分、すごく関心がございます。今回これで予算がつけられないとしたとしても、必ずこういった安全対策、地震が来て建物は大丈夫だったけれども、そこに備えつけられてあった棚であったりとか、そういうものが倒れたということで子どもたちがけがをすることないような環境をもう一度点検していただけるように要望させていただきます。

以上です。

○議長（中西峰雄君）10番 松本君に申し上げます。質疑は、質疑でございますので、要望の場合はできるだけ控えていただきますようお願いいたします。

ほかにございせんか。

13番 瀧君。

○13番（瀧 洋一君）先ほど、14番土井議員の質疑でありました小学校、中学校の整備の点なんですけれども、緊急に修繕が必要とされる部分がいろいろあるということ把握されておると思うんですけれども、その結果、たまたまこの防水関連が多かったということで、今回の予算計上に至ったんでしょうか。そもそもの経済対策ということであつたり、市内業者へのということであれば、できれば幅広い分野で、少ない予算ではあるんでしょうけれども、予算計上していただけたらいいのではないかなというふうに思うんですが。たまたまそうだったということなのかどうかお尋ねをします。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）工事対応すべき箇所が小学校では10件、それから中学校では14件ございまして、その中でも防水というのが、屋根の雨もりというのが、やっぱり優先的に押さえていかんなんというのが、建物の状況から言うと、市長も学校関係については、特に防水というのが大事、文教すべてですけれども、対策を整えるようにというような市長からの指示もいただいておりますので、やっぱり押さえていかんなんところかなと考えておりますので、今回防水を中心に考えさせていただきました。

以上です。

○議長（中西峰雄君）ほかにありませんか。

22番 楠本君。

○22番（楠本知子君）教育費の中での地域子育て補助金を使つての「今日から変わる私も子ども」と題しての市民講演会を開くという費用のことなんです、橋本市の地域子育てのいろんな課題があると思うんですけれども、この講演会は、どのような講演会なのか少し教えていただきたいと思つています。

○議長（中西峰雄君）教育次長。

○教育次長（西本健一君）これは、この予算をいただいて2月24日に予定しております。午後1時から3時まで東部コミュニティセンターで、日本メンタルヘルス協会に講師派遣を依頼いたしまして丸山弥生氏に来ていただいて、「今日から変わる私も子どもも 笑って学ぼう子育て心理学」ということで、この家庭教育支援室にかかわる橋本市家庭教育支援チーム員が企画運営する事業でございます。内容は虐待予防も含め、健やかな子育てに前向きになれるような気付きが得られるものということで、事業目的といたしましては、自分で未来を切り開ける子どもを育てるために、親自身の学び、成長を目的としております。特徴としましては、従来の堅苦しい講座ではなく、親しみやすい笑いと感動の講座で、自然と子育てスキルアップ等を見込んでございます。

以上です。

○議長（中西峰雄君）22番 楠本君。

○22番（楠本知子君）たくさんの方がこれに参加していただけるようにしていただけたらと思うんですけれども、数学ウェブの講演会が以前に産業文化会館で行われました。参加人数が少し少なかったように思います。たくさんの方に来ていただけるようお願いしたいと思います。

○議長（中西峰雄君）ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西峰雄君）ないようですので、歳出を終わります。

引き続き、歳入に入ります。4ページをお開きください。

歳入全般について行います。質疑ありませんか。

10番 松本君。

○10番（松本健一君）今回のこの補正は、国

から予算が組まれておりてきたものだと思います。私、6月、9月と一般質問でも取り上げさせていただいたワクチンに関しての予算、これも11月の国の予算で組まれてたと思いませんけれども、今回ここで取り上げられなかった理由についてご答弁いただければと思います。

○議長（中西峰雄君）暫時休憩いたします。

（午前11時3分 休憩）

（午前11時4分 再開）

○議長（中西峰雄君）再開いたします。

財政課長。

○財政課長（北山茂樹君）今回のきめ細かな交付金、それから住民生活に光を注ぐ交付金の中にもう一つの社会資本総合整備の交付金につきましても、今、松本議員が言われるその目的の事業等は含まれておりませんので、今回予算計上はしておりません。

○議長（中西峰雄君）ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西峰雄君）ないようですので、歳入を終わります。

それでは、歳入・歳出全般について行います。

質疑ありませんか。

2番 阪本君。

○2番（阪本久代君）今回は、何度も出てきてますけど、経済対策及び地域活性化対策ということでの予算組みであります。12月議会で富岡議員も質問しましたけれども、リフォーム助成制度が、多職種に及んでかなりの地域活性化には役立つというふうに考えているんですけれども、今回の予算の中で、だいたい前倒しが多いんですが、だから今までと同じようなところの業種、業者に仕事が行くと思うんです。それで、今回のこの予算でどのくらいの業種、業者に仕事が、地元の業者に

仕事が行くことになるのかというのが一点と、それと市営住宅の改修というが入っていますので、畳とか内装とかも含まれてくるのではないかなとも思うんですけれども、その辺についても地元の畳屋さんとかに仕事が行くのか、この二点お尋ねします。

○議長（中西峰雄君）副市長。

○副市長（清原雅代君）今回の予算付けというのは、その対象業種をイメージして予算配分した事業ではなくて、市として緊急性の高いものを優先的につけておりますので、業種については、どれだけあるかということは考えた上で予算付けでありませぬのでご理解をいただきたいと思います。

○議長（中西峰雄君）2番 阪本君。

○2番（阪本久代君）たとえそうであっても、どのぐらい地域にお金が行くのかということでの質問ですので、だいたいのところでは答えていただきたいんですけれども。

○議長（中西峰雄君）総務部長。

○総務部長（中山哲次君）どれぐらいの額がという話なんですけれども、基本的にはこの補正予算の中、内数で地域へおりると思います。ですから、市といたしましては、あくまでも競争性を維持しながら、地元で調達できる部分については最大限地元業者のほうへ発注を進めていくということは基本に置いておりますので、ご答弁とさせていただきます。

○議長（中西峰雄君）2番 阪本君、答弁もれ指摘願います。

○2番（阪本久代君）済みません。畳の部分についてだけお願いします。市営住宅の改修が入ってたから、その畳とかが地元へ発注されるのかどうかという。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）一例としてのご質問でございます。畳だけを替えるということになりましたら、本市のほうへ登録いただ

ております物品業者さんの中から畳で登録していただいているところから、まず見積もりを徴してそちらへ発注という流れになろうかと思えます。

以上です。

○議長（中西峰雄君）3番 富岡君。

○3番（富岡清彦君）私どもの会派は何を申し上げたいかと言いますと、そもそもこの交付金で地域経済の活性化を行うことを目的とした交付金なんですよ。いくつか、きめ細かなとか何かいろいろ言うてるけれども。だとすれば、それぞれのいろんなこの、前倒しをしたりだとかね、それはそれで反対するものではないんですが、この不景気にあって地域経済を活性化させるということになったら、こんなもう、リフォーム助成制度とか、これ2億円なら2億円をそこに投入したら、一発で元気になるということを言いたいよ、橋本市の経済。多くの業種にリフォーム助成制度というのは仕事が及ぶんです。地元でも工務店さん訪問したら仕事がないんや、株で生活してる、そんな状況とかもう言い出したらきりないんで、ぜひとも、この地域経済を活性化する交付金であれば、リフォーム助成制度にどんと予算を投入して、そして経済を活性化すると、こういうお考えはなかったのか。これは市長さんかだれか答弁下さい。

○議長（中西峰雄君）副市長。

○副市長（清原雅代君）12月議会でしたか、たしかご質問をいただいた時点で、橋本市としてはそれに取り組むということをお願いしておれば、この予算を当然使わせていただいて取り組んだと思いますけれども、ご答弁させていただいたとおりでございます。市としての考え方は、その時点でご答弁させていただいたとおりでございますので、今回、市として必要なものに予算付けをさせていただいたということでございますのでご理解をいた

だきたいと思います。

○議長（中西峰雄君）ほかにありませんか。

23番 井上君。

○23番（井上勝彦君）全体の中で一つだけ。

先ほど、あんまり質問もやめとこうかなと思ったんですが、経済対策、皆さんそれぞれ意見出ておりますけれども、緊急を要する経済対策ということでこの予算の内容をちょっと見てみましたら、私経済建設委員会におるさかいかわかりませんが、商工農林のほうへの予算配分というのか、それが商工農林の本当の経済対策というのは商工の関係で、やっぱりもう少し配分をしてほしかったなという一つの考え方で私自身は持っております。それは今、前倒しでやっていただくこの工事部分については、これはそれぞれの部門で要するに分かれておまして、非常にうまく組んでいただいているということはよくわかるわけなんですけれども、そう思うわけなんですけれども、前倒しですので、今度緊急でやっていただくかなん問題がたくさん商工農林部門にはあるんですわ。それはここではもう申し上げませんが、新年度ではやっぱりこの前倒しにした部分と、それから要するにまだこれにしたかったけれどもできなんだという、当局はよくわかっておられると思うんで、新年度の予算にやっぱりのせるということも考えるべきやと、僕は思います。

それともう一つは、お尋ねしたいのは、1,800mかな舗装、舗装。これ、6,000万円というのはかなり金額が大きいんで、地元業者を潤すということで、要するにそれの1,800mできる能力を持った地元業者があるということ想定して予算組みしとるのか、そうか二つに分けて分離で900mずつやっもらうか、そこんこの考え方として、どうせまたこれよそへ行かれてしもうたら経済対策にならんでしょ。業者が地元の業者で、

できるような入札方法をとるべきだと思うんですが、それちょっと一点、気になりましたんでこの場でご答弁をいただけたらと思います。

○議長（中西峰雄君）建設部長。

○建設部長（松浦広之君）若干入札制度にかかわる部分もあろうかとは思いますが、発注者の建設部といたしましては、議員おただしのよう極力地元さんでやっていただけるものであればという視点に立ちたいと思います。ただ、現在のところ、いわゆるこの舗装というのはアスファルト舗装でございますので、できる業者さんというのは数が限られております。そういったところで、地元業者さんということにまず視点もおきながら入札のメンバーということになるんですけども、その中で分割することがより地元業者さんの参入の機会が得られるのであれば、それはそれで検討に値するのかなと思っております。分割することによってということは、このケースはちょっとなかなかないかなと。ただ、視点はあくまでそんな視点から発注は考えていきたいというふうに考えております。

○議長（中西峰雄君）ほかにありませんか。

11番 岩田君。

○11番（岩田弘彦君）総合的なところで確認だけしときたいんですが、目的は市内地域の活性化の目的、さっき3番富岡議員さんもおっしゃられてましたが、いや前倒しでも私は結構なんです。前倒しやったら無駄遣いにならないと思いますんで。慌ててプラスアルファのものをつくと無駄遣いになる可能性も多いんで、前倒しはいいと思うんですが、要は今のややこしい答弁じゃなくて、市内に仕事を出せるものを選んだんでしょ。選んで予算組みをしたんでしょ。それでないとおかしいですやん、目的から言うたら。それだけを確認したい。だから、目的から言います

と、市内で仕事をしていただける、市内に経済効果のあるものを選んで、この補正予算を組みしたと言うていただけたら、私はすぐ賛成しますが、答弁よろしく願います。

○議長（中西峰雄君）総務部長。

○総務部長（中山哲次君）先ほど、私のほうからもご答弁させていただきましたが、できる範囲で地元業者ということについてはもう、先ほどのご答弁どおりでございます。地元業者の方々に競争性を維持しながら、調達できる部分については調達をさせていただきたいというふうに考えております。ただ、今回ご質問いただいたのでご答弁させていただきますけれども、この場ですべてが100%市内業者かと、地元業者かという質問でございますけれども、その点につきましては、やはり競争性も必要でございますし、入札ということの条件が整わなければ地元業者だけで数社で対応ということも、これは税金を使わせていただく以上やはり問題はあろうかと思っておりますので、100%市内、地元業者ということのご答弁は差し控えさせていただきたい。ただ、繰り返しになりますけれども、地元調達できる部分で競争性を確保できる部分であれば、極力地元調達をさせていただきたい、結果的には競争性が成り立たない、入札制度が成り立たない場合につきましては、市外業者の参入ということもございます。そういうことをご答弁させていただきます。よろしくご理解願います。

○議長（中西峰雄君）11番 岩田君。

○11番（岩田弘彦君）私聞いているのは、そんなこと聞いているのと違うんです。その入札の仕方を不正せいと言うてないよ、おれ。とちごうて、市としたら、市内に仕事が落ちるやつを選んでしたんや、選んで補正予算を組んだんや、結果として入札のときに、そんな競争性とか透明性、仕方がない、それはしようが

ないやんか。極力選んで組んだ予算ですねという話をしとるんで。極力選んで予算組みましたということやったらそれでいいですよ。それで、極力そっち向いて努力してくれたらええわけよ。絶対100%落とさなあかんとは言うてませんが、極力落とすことを組んであんのやさかいに、100%に近い状態で市内に落とす努力せなあかんわな。だから、その努力はしていただきたい。それも含めて、もう一回答弁願います。

○議長（中西峰雄君）総務部長。

○総務部長（中山哲次君）質問の趣旨、十分理解させていただきましましたので、最大限努力させていただきます。

○議長（中西峰雄君）ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西峰雄君）ないようですので、これをもって質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

ただ今議題となっております議案第1号については、会議規則第37条第3項の規定により委員会の付託を省略いたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西峰雄君）ご異議なしと認めます。

よって、委員会の付託を省略することに決しました。

これより、討論に入ります。

討論する方ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中西峰雄君）討論がないようですので、討論を終結いたします。

これより、議案第1号 平成22年度橋本市一般会計補正予算（第6号）について を採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(中西峰雄君)ご異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。